

兵庫県下の経済動向

平成23年12月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しの動きに一服感が窺われる。海外経済の減速等を背景に、輸出や生産は足もとやや弱含んでいる。一方で、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調が続いている。設備投資は全体として持ち直している。この間、住宅投資は弱めの動きが続いている。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が7か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車すべて増加し、全体では2か月連続で前年を上回った。家電販売は、スマートフォンは引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業、非製造業ともに増加計画となっている。

住宅投資は、持家が減少したものの、貸家、分譲が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事は、独立行政法人等が増加したものの、兵庫県、国、神戸市などが減少したことから、12か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出が米国向けが増加したものの、EU、アジア向けが減少し、3か月ぶりに前年を下回った。また、輸入については12か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、情報通信工業、輸送機械工業、化学工業などの上昇により5か月ぶりに上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を下回った。

また、常用労働者数は前年を下回ったものの、一人当たり名目賃金は前年と変わらず、所定外労働時間は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数、金額とも前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

9月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数22.2%、遅行指数37.5%となった。

9月の兵庫CIは、先行指数87.4、一致指数92.2、遅行指数102.9となった。

兵庫DIは、先行指数および一致指数が2か月連続、遅行指数が4か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月ぶりに前月差減となり、一致指数および遅行指数が2か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を9か月ぶりに下方修正し、「足踏み」とした。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

10月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は96.3、前月比1.5%上昇。出荷指数は98.3、同2.9%上昇。在庫指数は120.9、同1.5%低下。在庫率は140.2、同2.3%上昇。生産指数は5か月ぶり、出荷指数は4か月ぶりに上昇、在庫指数は17か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が1.1%増で2か月ぶりに上昇、出荷は4.8%増で3か月連続で上昇した。また在庫は13.1%増で16か月連続で上昇した。

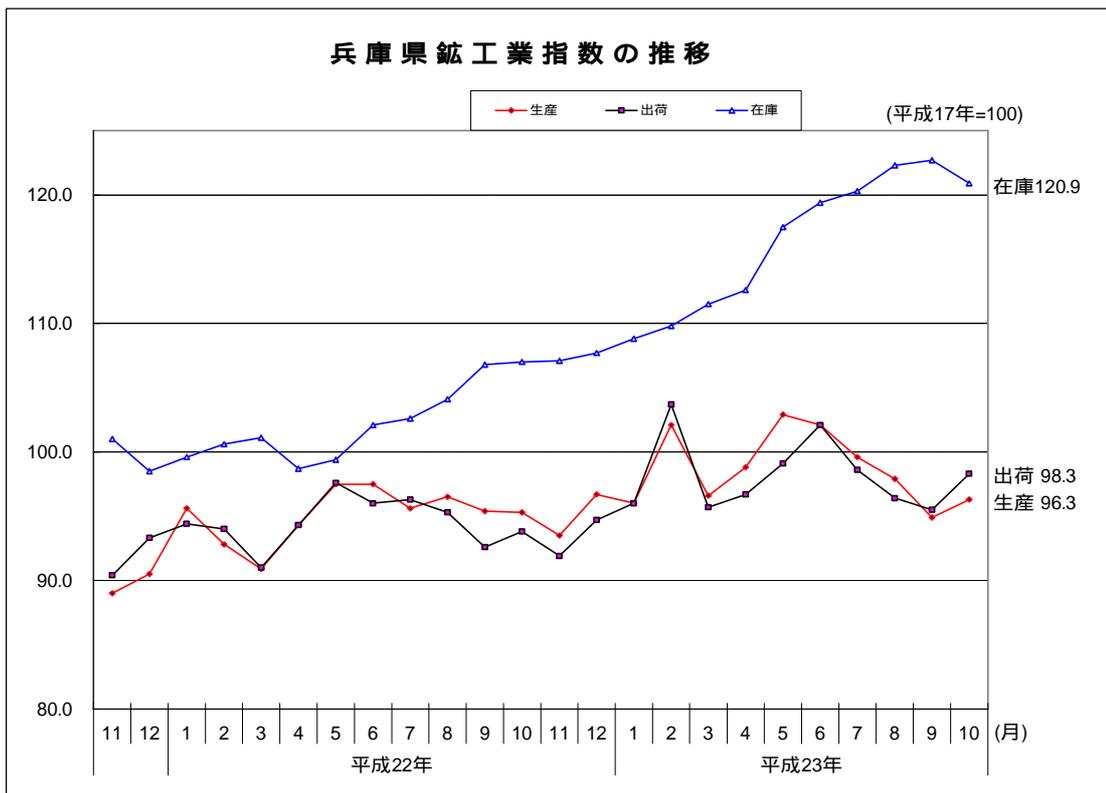
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、混合機・かくはん機・粉碎機等の「一般機械」が10.7%、陸上移動通信装置(携帯電話以外)等の「情報通信機械」が8.5%、鋼船等の「輸送機械」が6.9%、石油化学品製造用触媒等の「化学」が2.3%、各々上昇したものの、シリコントランジスタ(1W未満)等の「電子部品・デバイス」が14.6%、清酒等の「食料品」が5.7%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼」が5.0%、電力変換装置等の「電気機械」が4.1%、うす板ばね等の「金属製品」が0.8%、各々低下した。

県統計課は、「県内の生産活動は、横ばいで推移している」としている。

10月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原 指 数	
	対前月比増減(%)	原 指 数	対前年同月比増減(%)	
生 産	96.3	1.5	94.9	1.1
出 荷	98.3	2.9	96.7	4.8
在 庫	120.9	1.5	122.1	13.1
在 庫 率	140.2	2.3	130.6	9.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



10月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	85.6	5.0	上昇	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋳鉄管、普通鋼線材、特殊鋼熱間鋼管
			低下	普通鋼鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼
金属製品	76.1	0.8	上昇	ガス温風暖房機、ガス湯沸器、超硬チップ、粉末や金製機械材料
			低下	うす板ばね、線ばね、鋼索、PC鋼より線
一般機械	116.9	10.7	上昇	混合機・かくはん機・粉碎機、ボイラ部品、C(W)BN 工具、熱交換機
			低下	蒸気タービン部品、特殊鋼切削工具、はん用内燃機関、油圧モータ
電気機械	115.3	4.1	上昇	一般用タービン発電機、開閉制御装置、クッキングヒーター、電気がま
			低下	電力変換装置、太陽電池モジュール、リチウムイオン蓄電池、一般用エンジン発電機
情報通信 機械	113.6	8.5	上昇	陸上移動通信装置(携帯電話以外)、パーソナルコンピュータ、搬送装置、テレメータ・テレコントロール
			低下	カーナビゲーション、レーダ装置、カーオーディオ、基地局通信装置
電子部品 デバイス	96.8	14.6	上昇	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、スイッチング電源、モス型半導体集積回路(ロジック)
			低下	シリコントランジスタ(1W未満)、PDPモジュール、シリコンダイオード、電界効果型トランジスタ
輸送機械	76.2	6.9	上昇	鋼船、旅客車、機関部品、特装ボデー
			低下	船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、二輪自動車部品、駆動伝導・操縦装置部品
化 学	93.5	2.3	上昇	石油化学品製造用触媒、化粧品、無水酢酸、自動車排気ガス浄化用触媒
			低下	医薬品、アクリル酸エステル、塩化ビニル(モノマー)、複合肥料(化成肥料)
食 料 品	90.4	5.7	上昇	ビール類、パン類、小麦粉、即席めん
			低下	清酒、めん類、砂糖、しょうゆ

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた11月の県内百貨店売上高は、前年同月比4.5%減の184億57百万円で、減少幅は10月より3.8ポイント拡大し、7か月連続で前年を下回った。歳暮商戦が振るわず、週末の天候不順などで客足が伸び悩んだ。

神戸地区では、冬物衣料の不振が続き、合計売上高が軒並み減少。また神戸マラソンが開かれた11月20日の日曜日は、客足や売上高が通常の日曜日を下回ったという。各店は「混雑を避けようとしたからではないか」とみている。一方で、スポーツ用品が好調な店舗もあった。

姫路・加古川地区では、山陽百貨店、ヤマトヤシキともに子供服が好調だが、食料品などで苦戦した。

県内では、10月に前年並みに戻った売上高が再び落ち込んだことで、本格化する年末商戦の行方を心配する声も出ている。

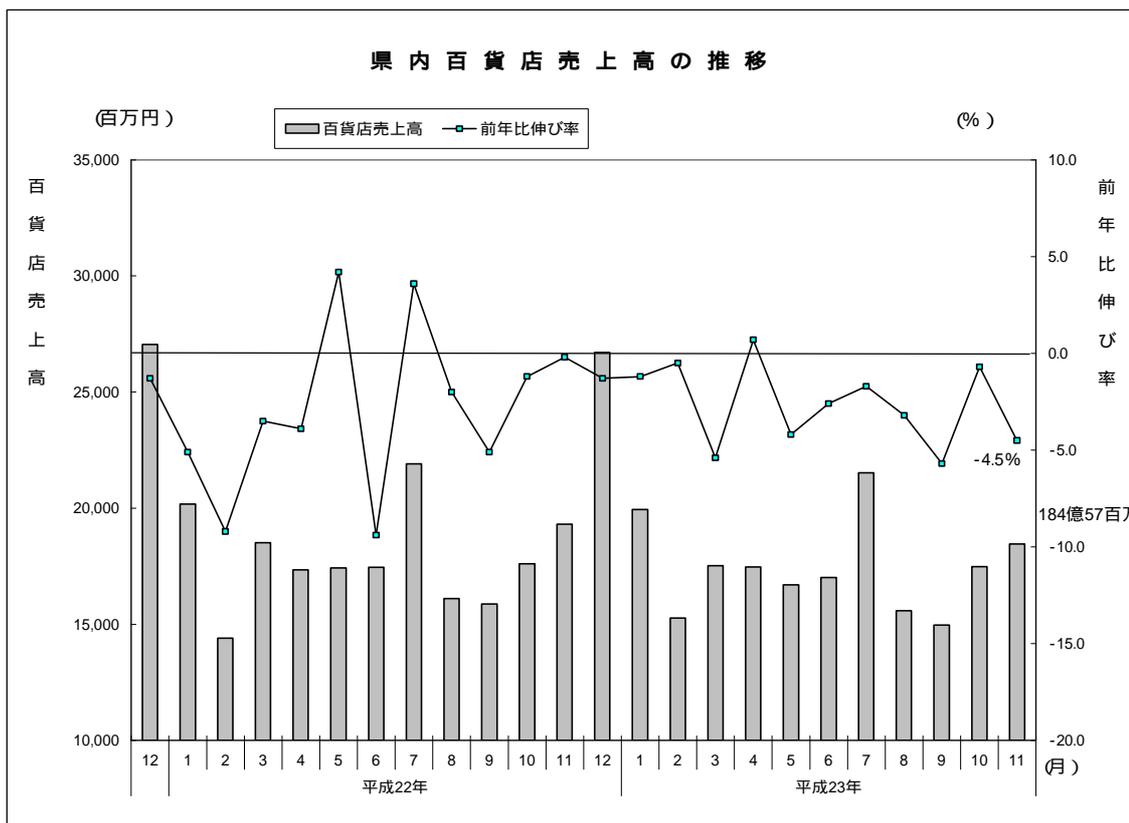
11月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	1,005(9.3)	226(7.6)	1,231(9.0)
婦人服・洋品	4,347(3.9)	801(5.6)	5,149(4.1)
子供服・洋品	479(4.2)	95(2.7)	574(3.1)
身の回り品	1,497(8.9)	259(5.4)	1,757(8.4)
家庭用品	605(7.1)	185(8.4)	790(3.9)
食料品	4,342(3.9)	893(4.5)	5,235(4.0)
雑貨	2,246(2.7)	462(0.9)	2,709(2.4)
その他	735(1.1)	274(4.4)	1,009(2.0)
計	15,258(4.6)	3,199(3.7)	18,457(4.5)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内 11 月の乗用車新車登録台数は 13,092 台、前年同月比 30.5% 増と 2 か月連続で前年同月の実績を上回った。

11 月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は 5,125 台(前年同月比 33.3% 増)、小型乗用車は 4,074 台(同 15.7% 増)、軽乗用車は 3,893 台(同 45.9% 増)、乗用車合計で 13,092 台(同 30.5% 増)となった。

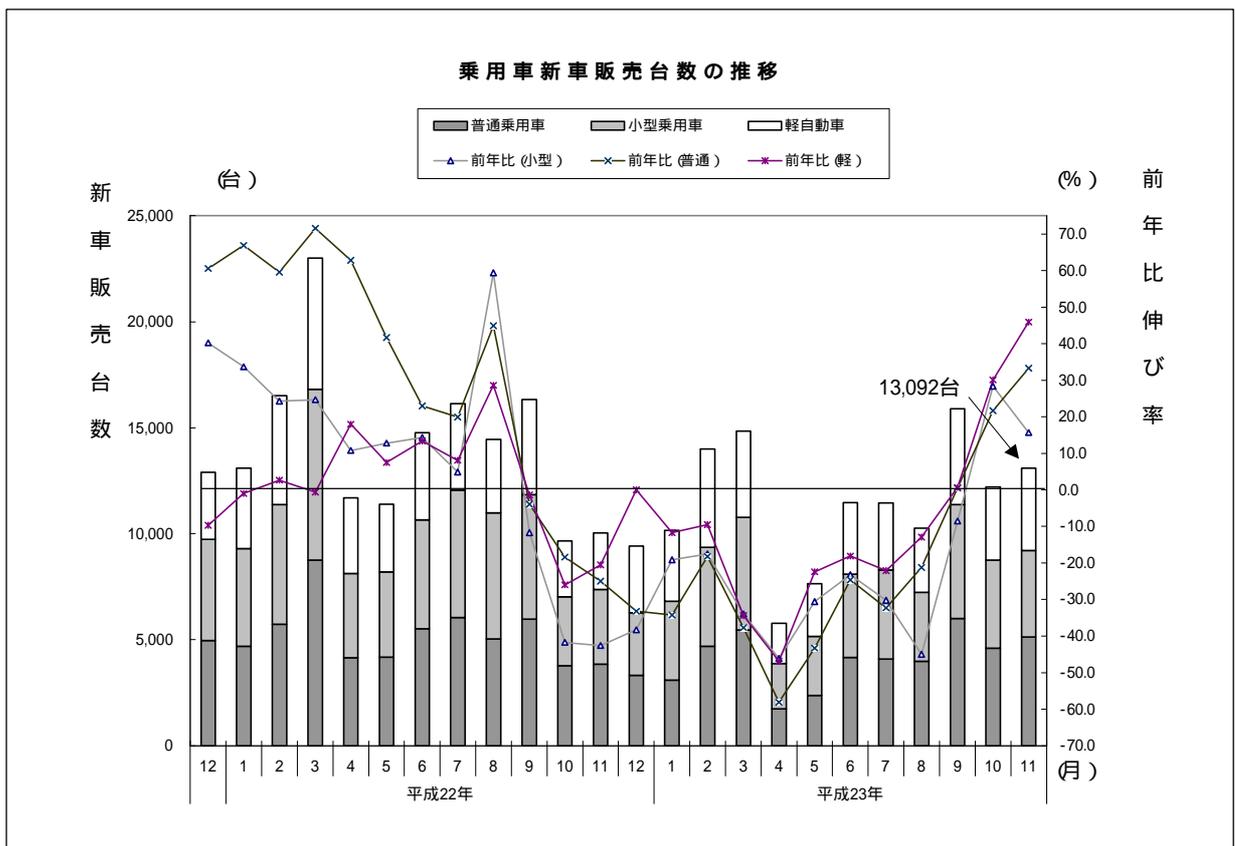
また貨物車等では、普通貨物車は 277 台(同 9.5% 増)、小型貨物車は 593 台(同 13.8% 増)、軽貨物車は 1,538 台(同 2.2% 減)、バスは 49 台(同 53.1% 増)となった。

11 月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,125	33.3	116,709	32.2
小型乗用車	4,074	15.7	104,339	15.7
軽乗用車	3,893	45.9	102,610	27.8
乗用車合計	13,092	30.5	323,658	25.1
普通貨物車	277	9.5	10,936	32.4
小型貨物車	593	13.8	19,379	22.5
軽貨物車	1,538	2.2	40,718	1.6
貨物車合計	2,408	2.6	71,033	10.7
バス	49	53.1	873	24.5
登録車総計	15,549	25.2	395,564	22.2

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が12月8日に発表した機械受注統計によると、平成23年10月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年9月前月比3.7%減の後、10月は同3.2%増の1兆9,714億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月前月比8.2%減の後、10月は同6.9%減の6,874億円となった。

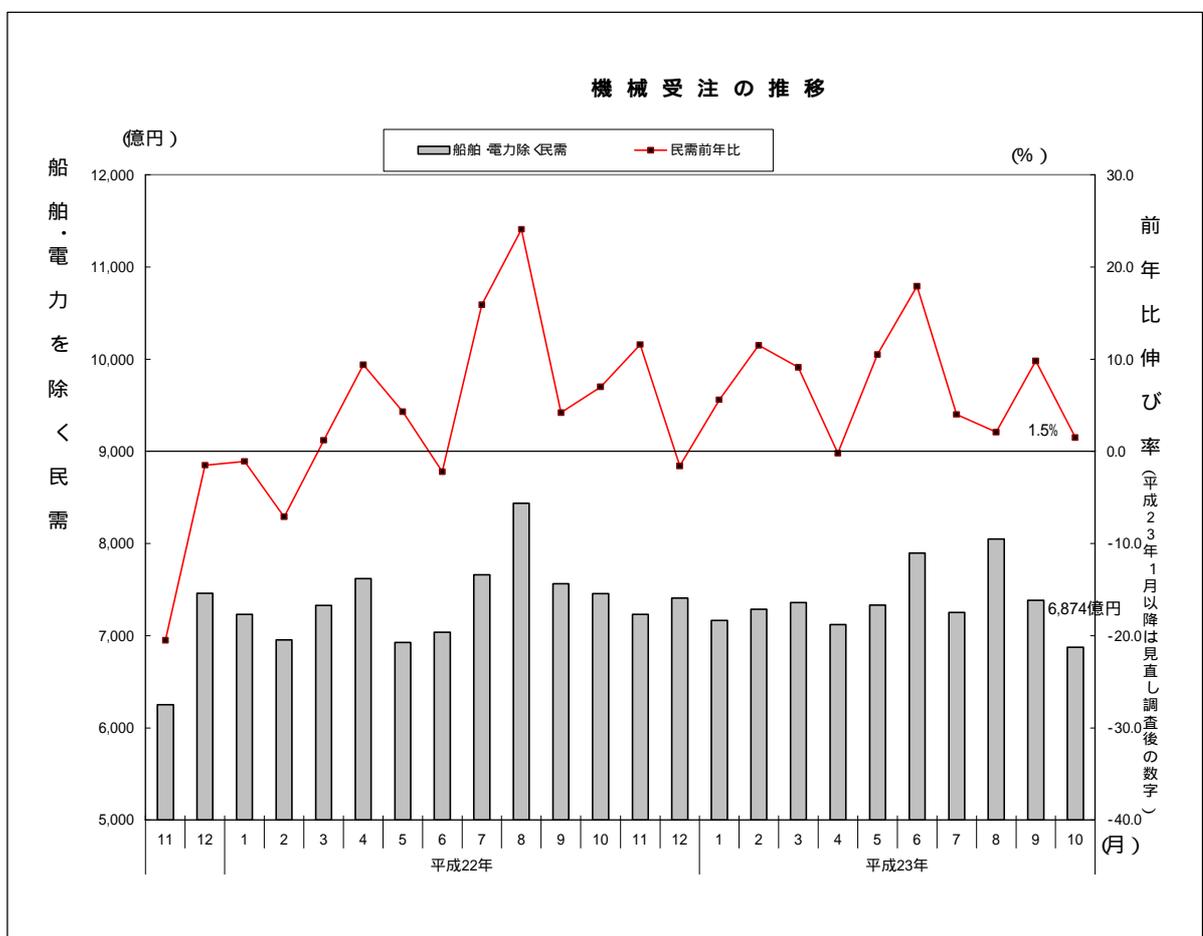
内訳をみると、製造業が同5.5%増の3,230億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同7.3%減の4,139億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、パルプ・紙・紙加工品(165.6%増)、化学工業(21.4%増)、自動車・同付属製品(19.7%増)等の5業種で、精密機械(34.9%減)、情報通信機械(28.3%減)、非鉄金属(21.9%減)、造船業(20.9%減)、「その他輸送用機械」(15.5%減)、石油製品・石炭製品(2.1%減)等の10業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(10.6%増)、情報サービス業(5.2%増)等の3業種で、運輸業・郵便業(31.3%減)、電力業(26.8%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(24.5%減)、農林漁業(18.0%減)、建設業(9.2%減)等の9業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、製造業、非製造業とも増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年12月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+11.6%(製造業+12.7%、非製造業+7.9%)



機械受注統計（平成23年10月分）

	22年 7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 実績	23年 7~9月 実績	23年 7月 実績	8月 実績	9月 実績	10月 実績
受注総額	59,380 (6.5) [25.5]	61,589 (3.7) [15.7]	67,789 (10.1) [18.8]	61,253 (-9.6) [9.4]	57,557 (-6.0) [-2.5]	18,629 (-11.3) [-5.9]	19,834 (6.5) [-3.3]	19,094 (-3.7) [0.7]	19,714 (3.2) [-6.8]
民需	26,640 (9.5) [16.1]	26,554 (-0.3) [13.6]	27,362 (3.0) [10.8]	27,926 (2.1) [15.4]	27,091 (-3.0) [3.6]	8,912 (-15.9) [2.5]	8,593 (-3.6) [-10.5]	9,586 (11.6) [16.4]	8,705 (-9.2) [2.1]
” (Ex 船・電)	21,596 (5.6) [13.9]	20,660 (-4.3) [5.6]	21,813 (5.6) [8.9]	22,351 (2.5) [9.8]	22,687 (1.5) [5.8]	7,252 (-8.2) [4.0]	8,049 (11.0) [2.1]	7,386 (-8.2) [9.8]	6,874 (-6.9) [1.5]
製造業	9,477 (13.2) [34.4]	9,314 (-1.7) [11.5]	9,807 (5.3) [16.3]	9,783 (-0.2) [17.2]	10,032 (2.5) [4.4]	3,261 (-5.2) [3.2]	3,709 (13.7) [5.0]	3,061 (-17.5) [4.8]	3,230 (5.5) [2.4]
非製造業 (Ex 船・電)	12,221 (2.5) [2.3]	11,600 (-5.1) [0.3]	11,761 (1.4) [3.5]	12,344 (5.0) [4.2]	12,965 (5.0) [7.2]	4,383 (-1.4) [5.8]	4,117 (-6.1) [-0.1]	4,466 (8.5) [13.2]	4,139 (-7.3) [1.0]
官公需	6,907 (3.0) [-10.1]	6,715 (-2.8) [2.6]	6,310 (-6.0) [-10.8]	6,365 (0.9) [-6.9]	6,077 (-4.5) [-11.0]	2,110 (-1.7) [-7.3]	1,994 (-5.5) [-15.8]	1,973 (-1.0) [-9.6]	2,011 (1.9) [-12.0]
外需	25,221 (9.5) [54.1]	25,426 (0.8) [22.4]	28,817 (13.3) [43.1]	25,038 (-13.1) [7.1]	23,708 (-5.3) [-6.8]	7,059 (-9.8) [-13.5]	9,339 (32.3) [10.0]	7,310 (-21.7) [-13.9]	7,431 (1.6) [-15.6]
代理店	2,391 (0.6) [21.9]	2,328 (-2.7) [8.9]	2,512 (7.9) [12.3]	2,588 (3.0) [7.8]	2,331 (-9.9) [-2.0]	739 (-1.5) [-5.0]	738 (-0.2) [-13.8]	855 (15.9) [13.2]	889 (4.0) [20.5]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内10月の新設住宅着工戸数は、総数で2,480戸(前年同月比4.6%増)となり、持家が減少したものの、貸家、分譲住宅が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では5戸の増加となった。

10月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	897	9.8	25,581	8.1
・分譲住宅	758	6.8	18,446	3.1
貸家系・貸家	819	25.2	22,904	8.9
・給与住宅	6	57.1	342	33.5
総数	2,480	4.6	67,273	5.8

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

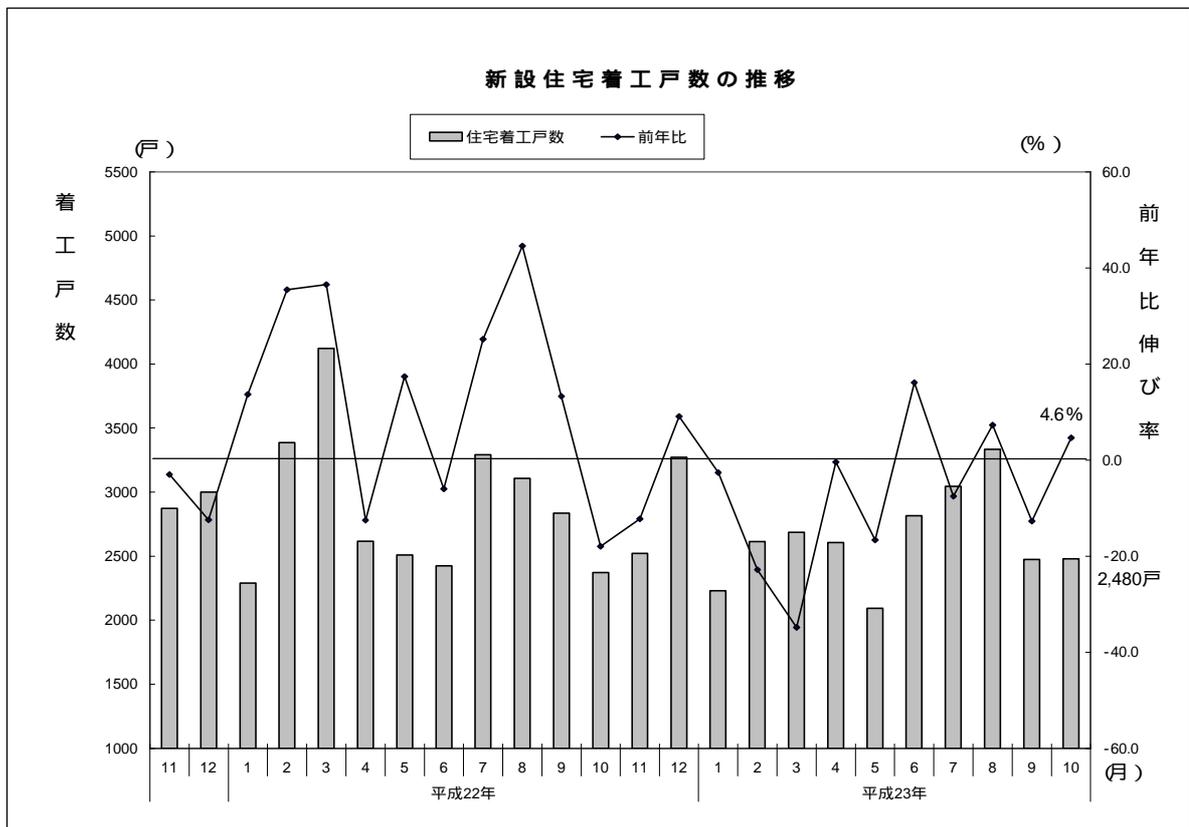
10月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	534	553	360	438	90	271	99	46	22	67	2,480
前月比	-310	44	94	120	-22	5	39	9	2	24	5

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～10月の新設住宅着工累計は、総数で18,852戸、前年同期比311戸の減少となった。利用関係別では「持家」が6,581戸(前年同期比0.5%減)、「分譲住宅」が6,640戸(同18.6%増)、「貸家」が5,565戸(同16.5%減)、「給与住宅」が66戸(同76.8%減)となった。



【公共工事】

11月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は504件で前年同月比17.4%の減少、請負金額は186億9百万円で同26.6%の減少となり、金額ベースでは12か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」が前年同月比58.6%の増加となったものの、「その他の団体」同72.3%、「兵庫県」同35.1%、「国」同18.5%、「神戸市」同11.6%、「神戸市を除く市町」同10.0%の減少となり、前年同月を下回った。

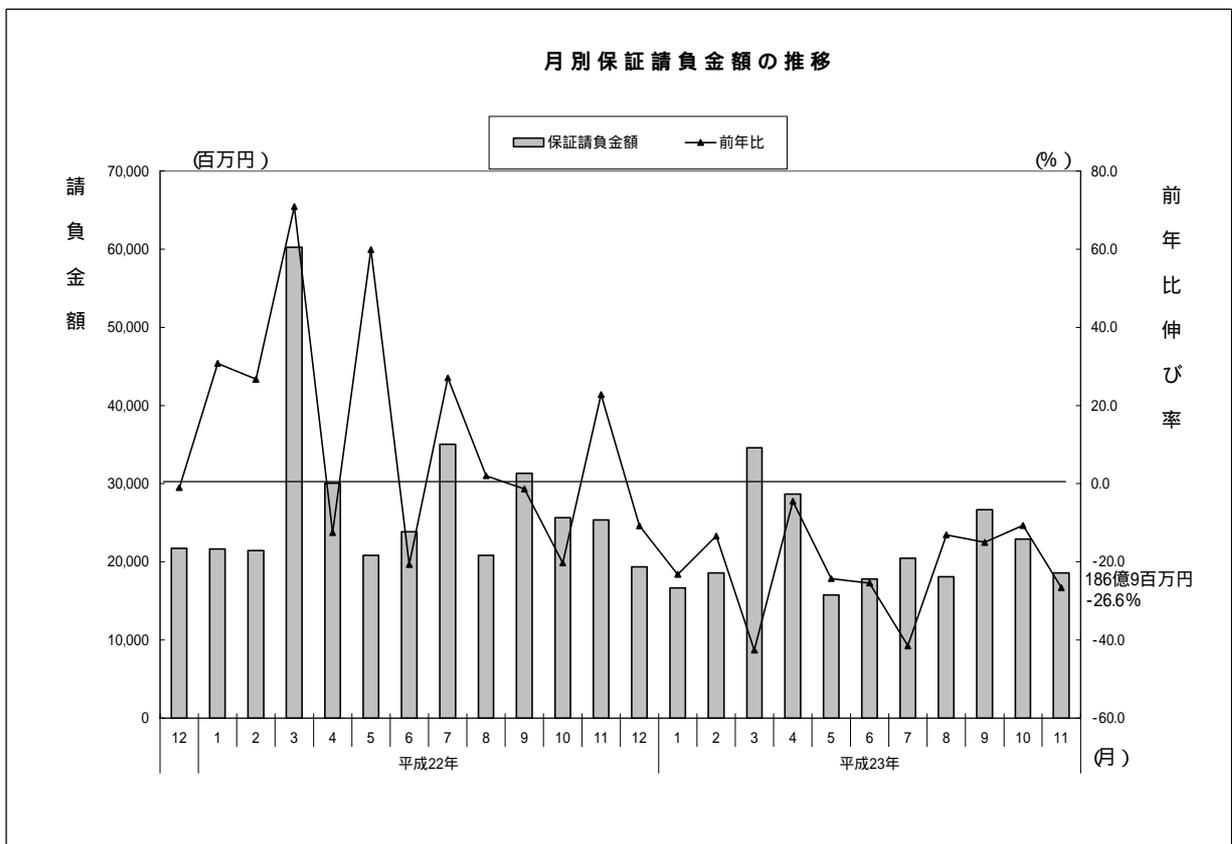
地域別(金額ベース)では、但馬(前年同月比1.8%増)で微増となったが、淡路(同77.8%減)神戸市(同35.1%減)、東播磨(同20.4%減)中播磨(同13.5%減)丹波(同13.4%減)阪神南(同11.5%減)阪神北(同9.7%減)北播磨(同5.2%減)西播磨(同4.5%減)では減少となった。

11月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	17(29.2)	800(18.5)	
独立行政法人等	21(75.0)	919(58.6)	新名神高速道路有野川橋(下部工)工事
兵庫県	167(32.9)	6,506(35.1)	ものづくり大学校体験施設建築工事
神戸市	72(20.0)	3,773(11.6)	須磨区役所建設工事
神戸市を除く市町	206(14.5)	5,740(10.0)	
その他の団体	21(12.5)	867(72.3)	
合計	504(17.4)	18,609(26.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成23年10月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,726億円、前年同月比5.5%の増加で、総額ベースで22か月連続の増加となった。輸出は、建設用・鉱山用機械などが増加したものの、原動機、半導体等電子部品などが減少した。一方、輸入は、音響・映像機器(含部品)などが減少したものの、たばこ、衣類及び同付属品などが増加した。

輸出は4,474億円(前年同月比2.8%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

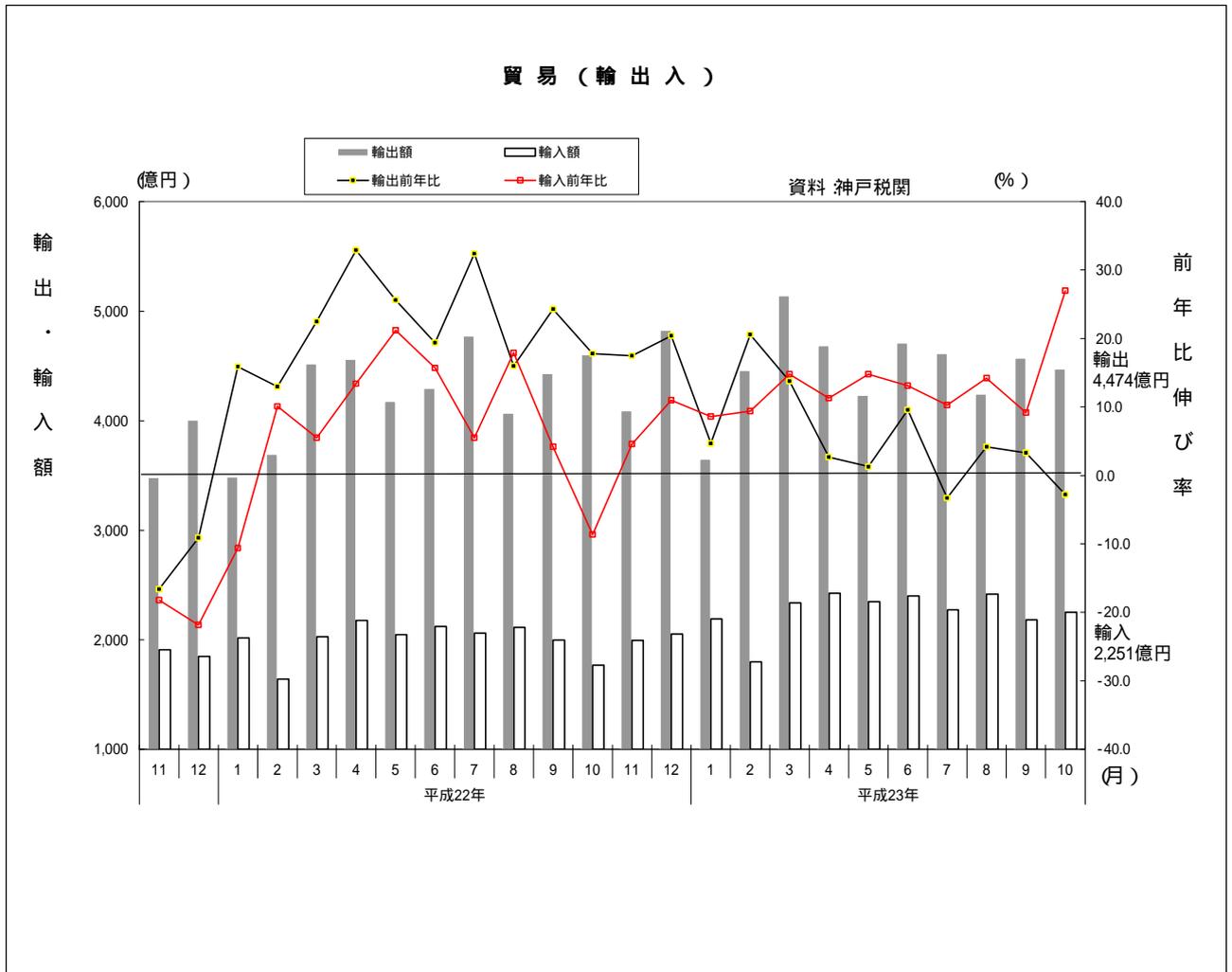
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比2.8%増、3か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同42.7%増、2か月連続プラス)が増加し、原動機(同33.8%減、2か月ぶりにマイナス)、プラスチック(同5.6%減、4か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(同2.2%増、2か月連続プラス)向けが増加したものの、アジア(中国含む)(同5.0%減、3か月ぶりにマイナス)、中国(同10.7%減、3か月ぶりにマイナス)、EU(同5.0%減、16か月ぶりにマイナス)向けが減少した。

輸入は2,251億円(前年同月比27.0%増)と12か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比55.1%増、4か月連続プラス)、たばこ(同2.5倍、2か月連続プラス)、非鉄金属(同10.2%増、2か月連続プラス)、有機化合物(同30.1%増、21か月連続プラス)がいずれも増加した。

主要地域(国)別では、米国(同28.1%増、3か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同28.1%増、12か月連続プラス)、中国(同32.6%増、6か月連続プラス)、EU(同22.3%増、2か月連続プラス)向けがいずれも増加した。



【物 価】『消費者物価』

11月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.6(平成22年=100)となり、前月比は0.8%下落、前年同月比は0.6%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は99.8となり、前月比は0.4%下落、前年同月比は0.2%下落した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.3となり、前月比は0.5%下落、前年同月比は0.7%下落した。

前月からの動きを見ると、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が1.8%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.6%、理美容用品などの値上がりにより「諸雑費」が0.5%、それぞれ上昇した。しかしながら、野菜・海藻などの値下がりにより「食料」が2.1%、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が3.3%、交通などの値下がりにより「交通・通信」が0.4%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.9%、保健医療用品・器具の値下がりにより「保健医療」が0.3%、それぞれ下落した結果、総合では0.8%の下落となった。

11月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.6	98.7	101.5	104.8	95.3	105.1	98.5	98.0	100.1	94.2	103.0	99.8	99.3
前月比	-0.8	-2.1	0.0	0.6	-0.9	1.8	-0.3	-0.4	0.0	-3.3	0.5	-0.4	-0.5
前年同月比	-0.6	-1.7	1.5	4.3	-4.0	0.2	-1.6	-1.4	0.5	-3.4	-0.6	-0.2	-0.7

(注)平成22年=100

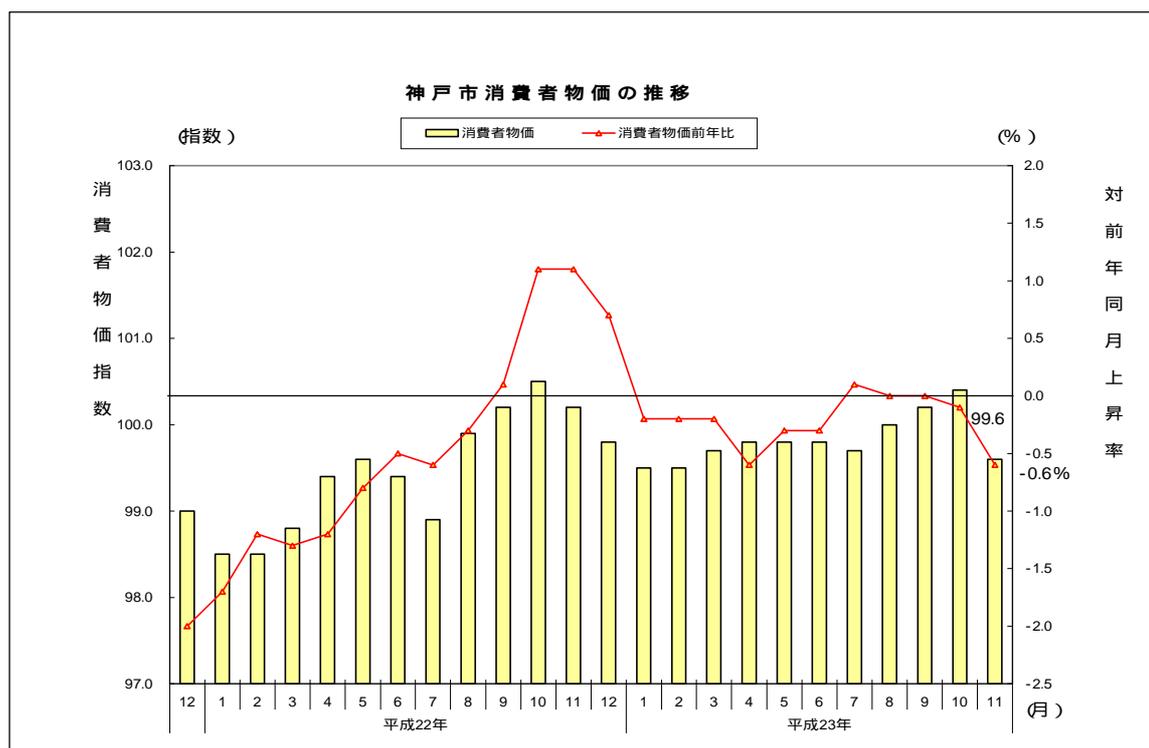
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

衣料 (+ 2.5%)・・・男児ズボン、婦人スラックス、女兒スカート
 ガス代 (+ 1.5%)・・・都市ガス代

対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (13.2%)・・・はくさい、ほうれんそう、だいこん
 教養娯楽サービス (4.3%)・・・外国パック旅行、インターネット接続料
 宿泊料



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が12月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年11月の実績は次のとおり。

11月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	104.7	0.1	1.7
輸出物価	81.6	0.1	3.2
輸入物価	114.3	0.0	8.7

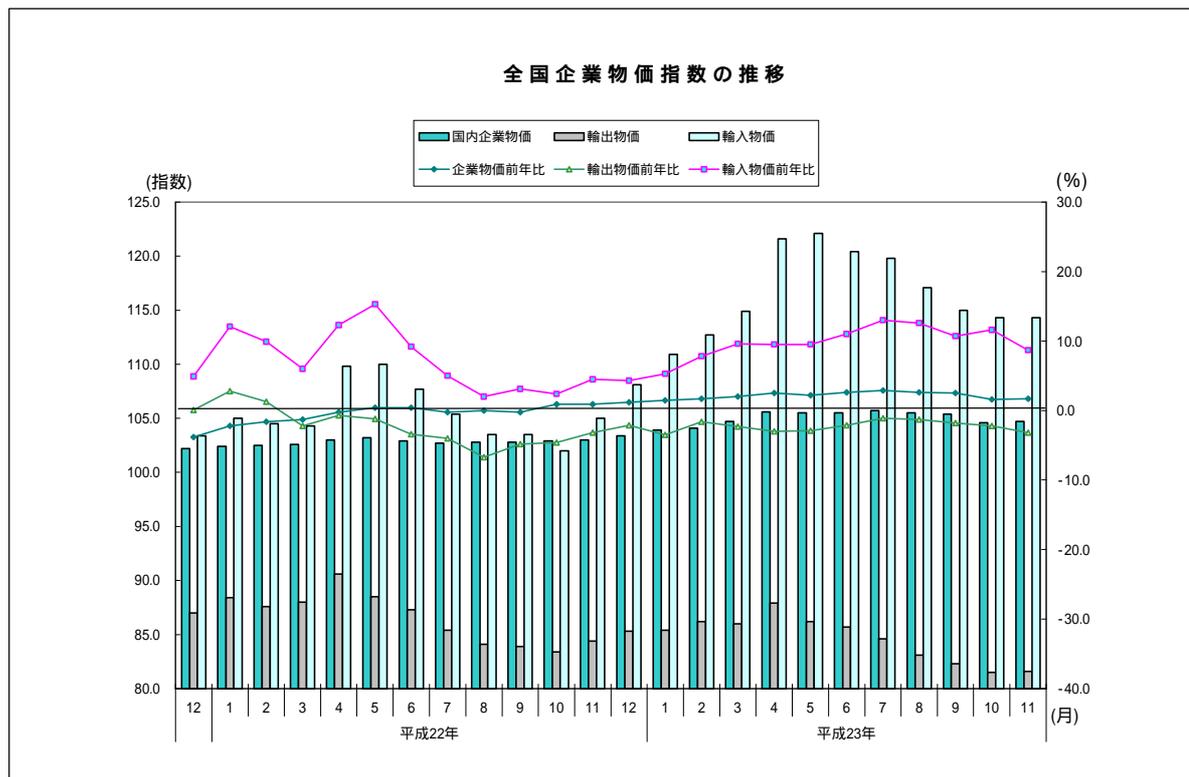
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、農林水産物(前月比+2.1%)<豚肉、玄米など>、石油・石炭製品(同+1.9%<灯油、軽油など>)、電力・都市ガス・水道(同+0.8%<大口都市ガスなど>)等が上昇したものの、スクラップ類(同-7.2%<鉄くずなど>)、情報通信機器(同-1.9%<携帯電話機など>)、鉄鋼(-0.6%<小型棒鋼など>)等が下落し、全体では前月比0.1%の上昇となった。

前年同月比では1.7%上昇し、前年比での上昇は14か月連続となった。
原油の国際市況の値上がり影響している。

輸出物価は、その他産品・製品(前月比+1.6%<自動車タイヤなど>)、電気・電子部品(同+0.2%<集積回路など>)、一般機械(同+0.2%<自動車用内燃機関・同部品など>)等が上昇したものの、化学薬品(同-1.8%<パラキシレンなど>)等が下落し、円ベースでは前月比0.1%の上昇(前年同月比-3.2%)となった。

輸入物価は、その他産品・製品(前月比-0.9%<天然ゴムなど>)、石油・石炭・天然ガス(同-0.3%<原料炭、原油など>)、食料品・飼料(同-0.3%<とうもろこしなど>)、金属・同製品(同-0.2%<銅鉱など>)等が下落し、円ベースでは前月比変わらずとなった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内10月の新規求人数(全数)は、25,913人(前年同月比1.2%増、前月比2.6%減)で、3か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は66,363人(前年同月比6.3%増、前月比0.9%減)で18か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.5%増で20か月連続で前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同3.3%減で3か月ぶりに前年を下回った。また臨時・季節では同6.6%増で12か月連続で前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比13.1%増)、製造業(同9.0%増)、卸売業、小売業(同2.9%増)、宿泊業、飲食サービス業(同5.0%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同15.3%増)、医療、福祉(同3.1%増)は前年を上回ったが、情報通信業(同3.5%減)、運輸業、郵便業(同24.6%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同14.8%減)、サービス業(同0.3%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

10月の新規求職申込件数(全数)は、23,880件(前年同月比7.3%減、前月比1.3%減)で、2か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は102,768人(前年同月比6.8%減、前月比1.3%減)で17か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比8.3%減で2か月連続で前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.0%減で2か月連続で前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比16.8%減で4か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比26.5%増で29か月連続して前年を上回ったが、在職者は同15.6%減で2か月連続、事業主都合離職者は同15.2%減で22か月連続、自己都合離職者は同6.8%減で17か月連続、自営・他は同27.9%減で5か月連続で前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、26,774人(前年同月比6.8%減)で、20か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

10月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.98倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.60倍で前月を下回った。

(4) 失業者の状況

10月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.5%で前月より0.4ポイント悪化、完全失業者数(原数値)は288万人(前年同月比46万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.1%(前年同月より1.0ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は52万人(前年同月比11万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年10月	25,913	1,817	3,551	302	1,603	4,007	166	500	801	2,099	1,161	6,200	2,875
前年同月比	1.2	13.1	9.0	3.5	24.6	2.9	23.0	26.9	14.8	5.0	15.3	3.1	0.3

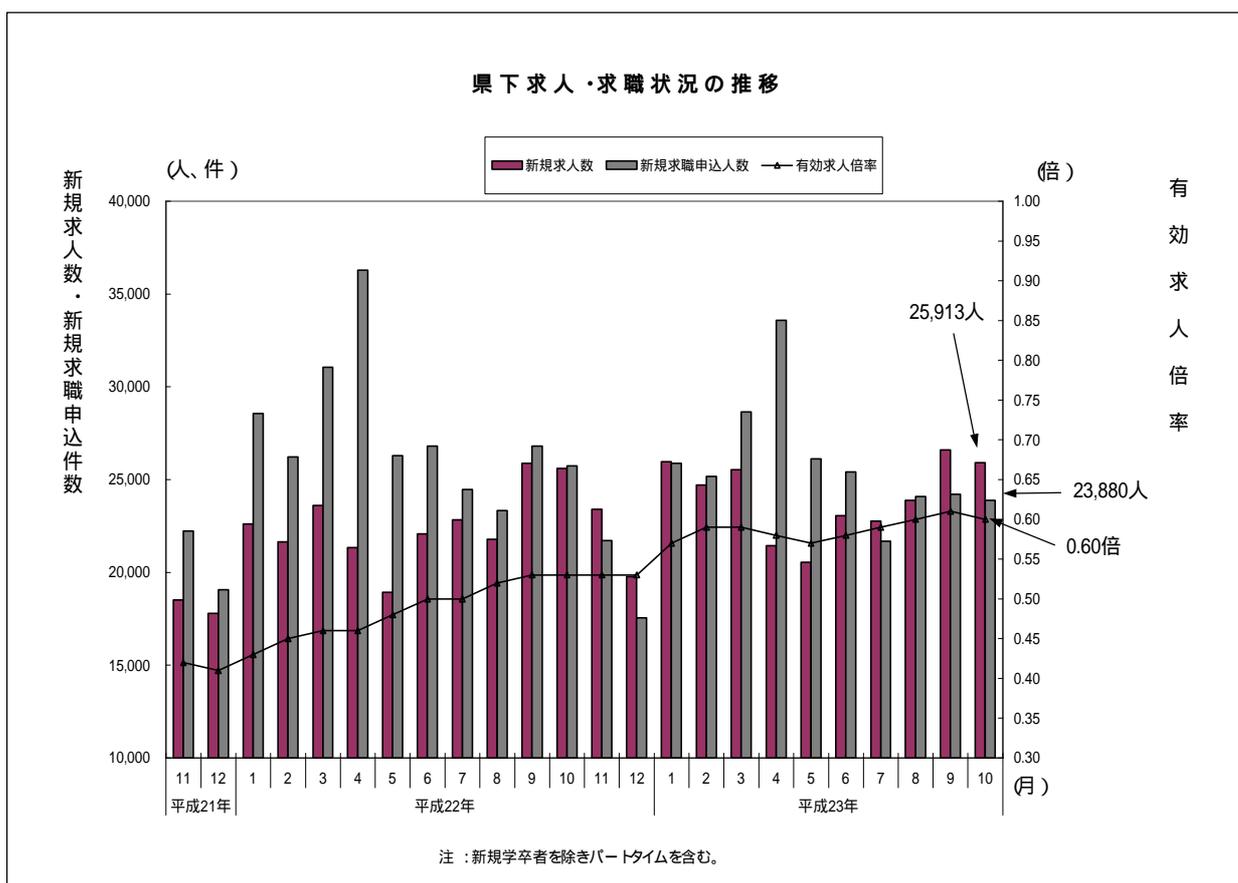
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	10/10-12	11/1-3	11/4-6	11/7-9	11/8	11/9	11/10
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.54	0.58	0.58	0.60	0.60	0.61	0.60
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	14.5	12.3	4.3	3.9	9.6	2.9	1.2
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	12.5	8.3	7.5	1.0	1.0	1.9	3.6
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	1.2	0.6	0.2	0.0	0.7	0.9
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	0.4	0.4	0.9	0.5	0.1	0.0

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

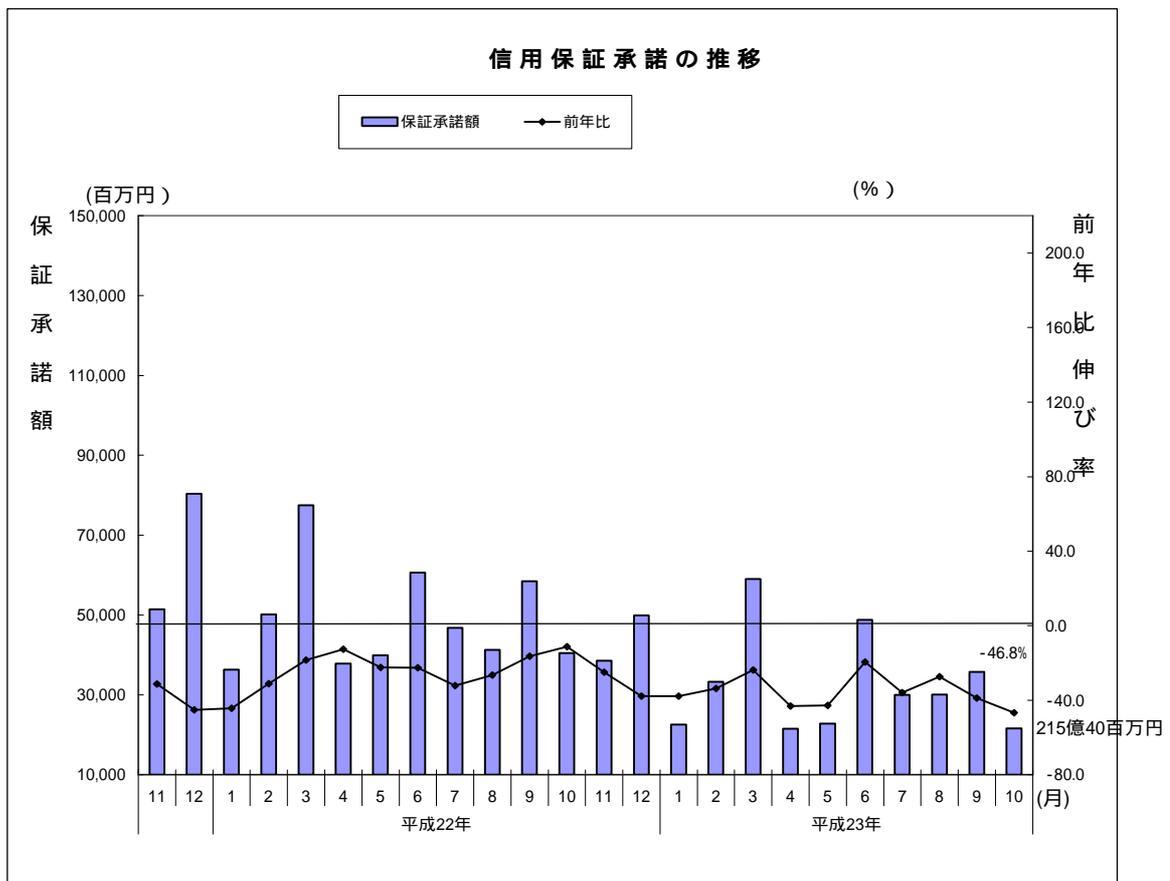
兵庫県信用保証協会による10月の保証承諾実績は、件数で1,560件(前年同月比34.1%減)、金額は215億4千万円(同46.8%減)となり、24か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減がなお続いており、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」877百万円(前年同月比5.2%減)、「サービス業」2,995百万円(同27.5%減)、「不動産業」1,075百万円(同33.0%減)、「運送・倉庫業」1,190百万円(同41.6%減)、「小売業」2,575百万円(同48.2%減)、「建設業」5,273百万円(同48.4%減)、「製造業」3,961百万円(同49.5%減)、「卸売業」3,471百万円(同59.8%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、294件(前年同月比26.2%増)、39億52百万円(同26.4%増)となった。

10月末の保証債務残高は、115,953件(前年同月比1.7%減)、1兆4,017億円(同4.1%減)となった。



【金融】

10月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	138,812	1.9	55,669	3.0
地方銀行	23,558	2.2	19,264	2.6
第二地方銀行	30,749	2.8	19,590	2.1
信用金庫	78,628	1.6	38,247	0.7
その他	16,705	4.1	16,907	1.2
計	288,452	2.1	149,677	1.1

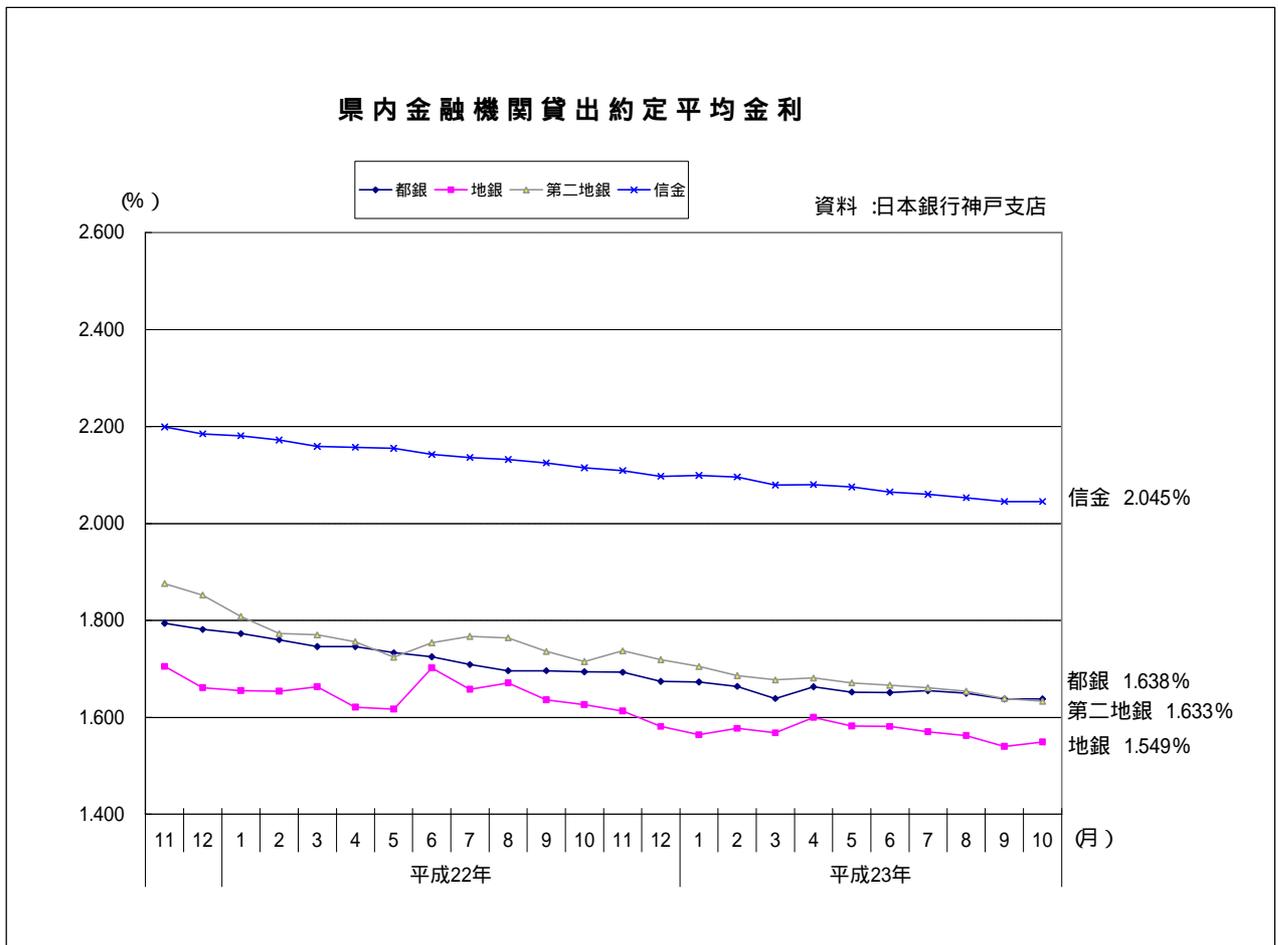
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

10月の預金は、前年を上回って推移している。

10月の貸出は、前年を下回って推移している。

10月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(10月末水準 1.769%、前月比変わらず)。



【倒 産】

県内 11 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 53 件で前年同月比 27.4%減少、負債総額は 40 億 9 百万円で同 82.5%の減少となった。

倒産件数は前月比 3 件の減少となり、直近 3 か月間は 50 件台で概ね横這い推移にある。

一方で負債総額は 7 か月連続で 100 億円を下回り、今年最小を記録した。

当月も「個人企業」の倒産がトップ、「不況型倒産」が 41 件発生した。

なお、東日本大震災関連の間接的な原因による倒産、および円高関連倒産が各々 1 件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が 39 件(全体の 73.6%)と前月比 3 件の減少ながら当月もトップ。2 番目は放漫経営、過小資本、偶発的原因が各々 3 件、次いで不良債権発生が 2 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は 41 件と前月比 4 件の減少となったものの、構成比は 77.3%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が 16 件(全体の 30.2%)と最も多く、2 番目は不動産・サービス他業が 13 件、次いで食品業 9 件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が 24 件でトップ、次いで「1 千万円以上」が 17 件、「1 百万円以上」が 6 件となった。

「産業別」では、「建設業」が 16 件でトップ、次いで「サービス・他業」が 14 件、「小売業」が 8 件となった。

今年 1 月から 11 月までの倒産累計件数は 579 件であり、昨年 1 月～11 月の累計比較において 99 件の大幅な減少、同様に負債総額累計も同時期の比較において 499 億 4,100 万円減と大幅に減っている。ただ、各分類別で見ると、「小口倒産」がより顕著となっている状況下において、厳しい商環境を背景とした「販売不振」に苦しんでいる中小・零細企業の実態が浮かび上がってくる。歴史的な超円高や EU 諸国に端を発する金融不安、タイでの洪水に伴う供給網への影響などは未だ続いており、また、資金需要が高まる 12 月に入って、全国的に負債総額 100 億円を超える大型倒産が相次ぐなか、年末年始を迎えるこの時期が一つのポイント、引き続き中小・零細企業の動向に十分なる注視が必要となってくる。

11 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	3	0	6	-3	金属・機械・電気	7	7	0	9	-2
過小資本	3	1	2	3	0	化学・薬品	0	1	-1	0	0
連鎖倒産	2	7	-5	3	-1	ゴム・皮革・ケミカル	2	0	2	4	-2
赤字累積	1	3	-2	1	0	食品	9	5	4	16	-7
販売不振	39	42	-3	59	-20	建設	16	15	1	21	-5
売掛金回収難	1	0	1	0	1	不動産・サービス	13	17	-4	11	2
その他	4	0	4	1	3	運輸・通信他	6	11	-5	12	-6
合計	53	56	-3	73	-20	合計	53	56	-3	73	-20

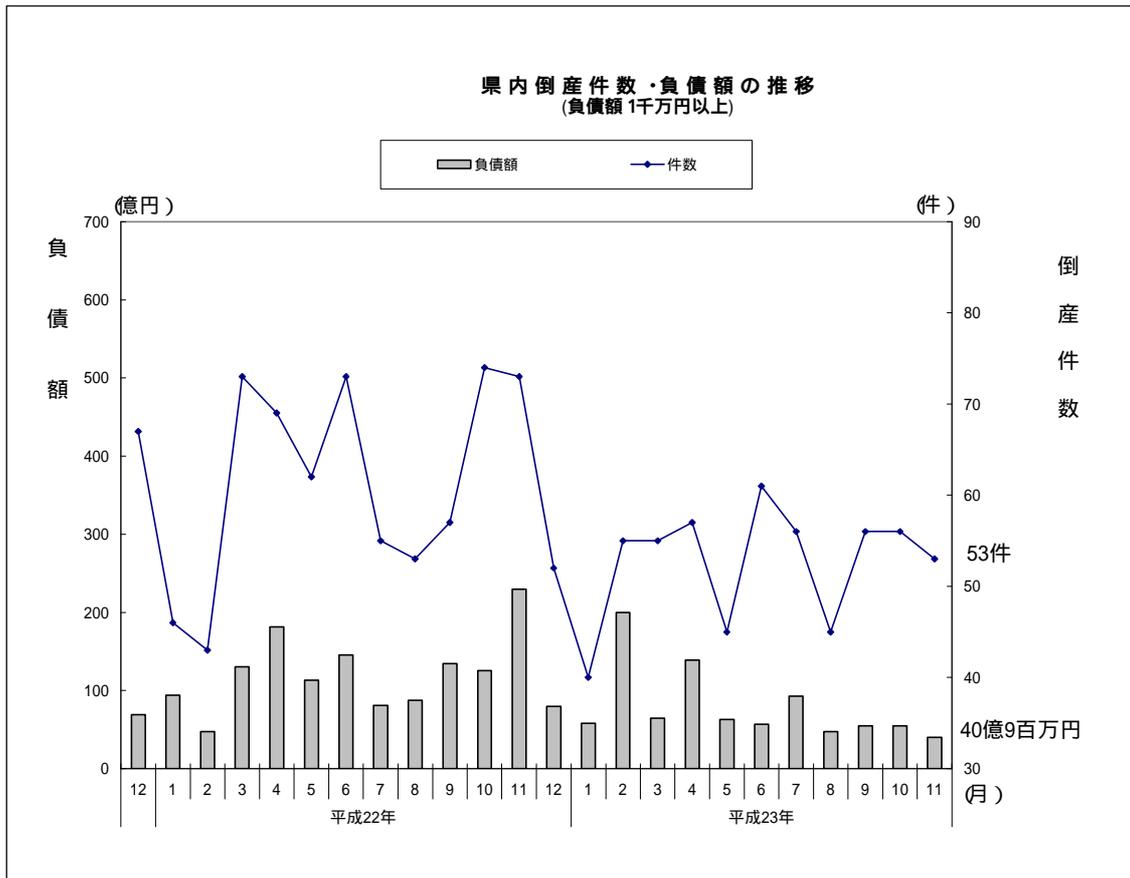
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2
23年 6月	61	13	23	8	12	2	1	2
23年 7月	56	18	16	8	9	2	1	2
23年 8月	45	15	9	7	10	0	2	2
23年 9月	56	17	22	4	10	2	0	1
23年 10月	56	19	17	5	11	2	2	0
23年 11月	53	19	17	8	9	0	0	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
		%	%		%	%		%	%	
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月	102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
7月	99.6	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
8月	97.9	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
9月	r 94.9	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
10月	p 96.3	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
11月					186	-26.6	6.8			
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	r 4,576	3.3	r 2,183	9.3
10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	p 4,474	-2.8	p 2,251	27.0
11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5					
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	100.1	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	100.0	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	100.3	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	100.4	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	100.3	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	100.1	0.0
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.5	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.9	-0.3	99.7	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.2	0.1	99.9	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.5	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.8	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	97.5	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	97.5	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	96.9	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	97.2	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	97.2	-0.9	r 100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月							p 99.6	-0.6		
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	105.5	2.6	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	105.4	2.5	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	r 104.6	1.7	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	p 104.7	0.1				53	40	19	17	17
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値